



奨学金サポーターの元に届いた、ペレーズ地区の子どもたちの写真や手紙（京都市伏見区・NPO法人「アクセス」事務所）

サポーター募集

同国ペレーズ地区はココナツが主要作物で一部地主が大規模農園を所有しているため住民の貧富の差が大きく、小学校を中途退学する子もいるという。

同法人では、ペレーズ

地区の子どもに向けた奨学金プログラムを3年前に立ち上げた。奨学金は文房具やかばん、副教材などの購入に充てられるといい、本年度までに延べ150人に贈った。

2。

しかし希望者は減ら



奨学金を受けて勉強に励むペレーズ地区の子どもたち
(2010年、アクセス提供)

同法人は「同じアジアに住む仲間として協力してほしい」としている。

奨学金（1万5千円）の寄付方法は現金のほか書き損じはがき400枚でも可。締め切りは3月末。問い合わせはアクセス

（逸見祐介）

フィリピンの貧しい子どもが勉強を続けられるように支える「奨学金サポーター」を、京都市伏見区のNPO法人「アクセスー共生社会をめざす地球市民の会」が募っている。貧困に苦しむ子が減らず、2013年度は

伏見のNPO

本年度の2倍の100人への支給を目指している。寄付を募る奨学金は1人当たり年間1万5千円。同法人は「週1回のコーヒー代ほどで子どもたちの人生が広がる」と協力を呼び掛ける。

フィリピンの子に奨学金を

市民版



京都
KYOTO

三条大橋西詰 (二二三) 三八〇〇
京のお鉢さん
御所鉢本舗

市民版担当
075(241)6117
FAX 075(252)5454

読者応答室
075(241)5421

ず、奨学金が行き渡らない子もいるため13年度から支援を広げようと計画している。

2年前から協力する湖南市の主婦（48）の元には奨学生の子どもから手紙が届いた。先生が警察官になりたいという夢をつづった内容に「自分の子どもと重なる。有り余る選択肢がある私たち

は、そうではない子どもを支える責任があると思う」と話す。

同法人は「同じアジアに住む仲間として協力してほしい」としている。